

支部だより
呉地区支部 県外研修会「岡山」

昨年11月28日、呉地区支部県外研修を行い、25名が参加しました。今回は、岡山の「閑谷学校」「誕生寺」等を見学しました。



「閑谷学校」では、現地の観光ボランティアの方に史跡各所を案内していただきました。我が国最初の庶民教育を行う学校で、藩営として日本最古の学校です。敷地内の建築物のほとんどが重要文化財で、校門の左右から出てすべてを石塀が囲んでおり、全長は765mにも及んでいます。ちょうどカマボコ型をしていて、日本では珍しい工法で、中国の影響を受けて作られたと言われています。内部には洗浄した割栗石を詰めて、雑草木が生えないように工夫。300年以上経っていますが、非常に

綺麗な状態を保っています。

講堂（国宝）屋根は「鍛葺き」と呼ばれる二段葺で、備前焼の瓦を使った本瓦葺き、室内の丸柱ケヤキ内部造作はすべて拭漆塗りとなっています。他に神社、聖廟、文庫、資料館等があります。

聖廟の前に2本の巨大な偕の木があり、11月初旬であれば綺麗な紅葉が見られるとのことでしたが、今回は残念ながら見るできませんでした。しかし、閑谷の山々と学校周辺の木々の紅葉は大変綺麗でした。

「誕生寺」は、浄土宗の開祖、法然上人がこの地に生まれたことから建立された寺。広い境内には御影堂、客殿など立ち並んでいます。重層入母屋造りの御影堂は1695年築で、3度目の再建で国の重要文化財に指定されています。



今回の研修会は日帰りではありましたが、歴史を感じる建築物と美しい風景を見ることができ、充実した1日となりました。

支部だより
尾道支部 “夢の家” 作成ワークショップ

事業名：尾道支部青年部 社会活動
“夢の家” 作成ワークショップ
日時：平成22年12月5日（日）
場所：尾道建設会館（尾道市古浜町）



今回は平成19年に行った本事業のテーマである『ドリーム・ハウス創ってみませんか』に、“おのみのちの海が見える家”という副題を付け、地域性をプラスして、子どもたちと夢の家を作りました。

事前に参加者の各家庭において親子でこのテーマについて考えて頂き、下絵を持参してもらって模型作りに挑みました。模型作りを通して一般の方と交流を行い、子どもたちはあらためて、尾道という恵まれた環境に住ん

青年部長 簀 秀治

でいることを再認識。個々に尾道への思いを抱いてもいい、保護者の方には建築士、建築士会及びその活動等に対する理解を深めて頂くことができました。

参加者はスタッフを含め総勢21名（その内、子ども9名）。半日の時間の中で完成するかどうか少々不安でしたが、各参加者とも、模型は無事に完成しました。



MONTHLY
No.59 建築士

IROSHIMA



表紙写真について

江津道の駅「サンピコごうつ」

- 設計監理／株式会社 LAT 環境クリエイト
- 施 工／江津土建株式会社
- 所 在 地／島根県江津市後地町
- 構 造／木造平屋建
- 敷地面積／10,757.69㎡
- 建築面積／629.37㎡
- 延床面積／629.37㎡
- 設計期間／2009年 5月～2009年9月
- 工事期間／2009年12月～2010年3月



この施設は、山陰の主要道路である国道9号線沿いの江津市東部地区に位置し、東側隣地には民間のドライブステーションがあり、西側は江津中学校が隣接している。

設計に際しては、基本コンセプトの右記項目に沿って行った。



- ①道路利用者にとって快適に過ごせるサービス度の高い道の駅
 - ②江津の地域の恵みを発信する地産地消の拠点
 - ③地域の人々や旅行者の集う賑わいの交流拠点
- 外観は、江津市の街並み形成の基本である「石州瓦」で葺いた建物をコンセプトに付加し、昔ながらの色である「来待色」とすることで大屋根を自然に溶け込ませることができた。

内部は、天井を5.4 mと高くして、木造建築の仮構を内装に生かしたインテリアとした。

また、外構には国道9号線に面した広告サインの外装仕上げに石州瓦の外壁用を使用。さらに、敷地の西側には旧建物に使用されていた鬼瓦を用いたモニュメントを設けた。

屋号の由来は、江津の地域の恵み＝三彦（海彦、山彦、川彦）から「さんひこ」→「サンピコごうつ」と命名。

事務局より 23年度 定期講習について

23年度の当会が開催する定期講習開催日は以下のとおりです。受付期間内でも、定員になり次第、締め切りますのでご注意ください。

開催日	会場	受付期間
6月 8日(水)	広島県情報プラザ	3月 7日(月)～ 4月25日(月)
8月 3日(水)		5月30日(月)～ 6月30日(木)
8月24日(水)	福山商工会議所	5月30日(月)～ 6月30日(木)
9月 7日(水)	広島県情報プラザ	5月30日(月)～ 7月25日(月)
平成24年 2月 8日(水)		11月14日(月)～12月20日(火)

受講申込の受付：広島県建築士会本部
(郵送可) (広島市中区千田町3-7-47-5F)

受講申込書の配布：3月1日～(予定)
配布場所 広島県建築士会本部・福山支部
広島県建築士事務所協会

※設計事務所の建築士として登録している者は、平成23年度中(平成24年3月まで)に「定期講習」を受講することが義務付けられました。(以後、3年度ごとに受講)

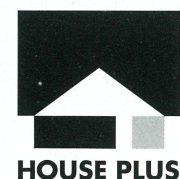
※「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ポジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX(082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

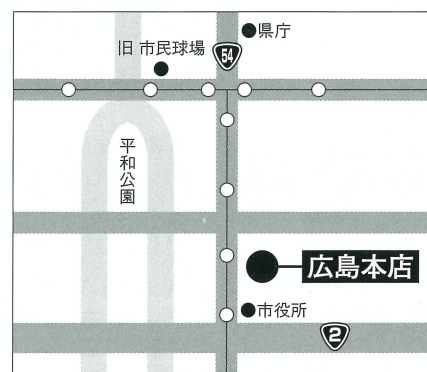


指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号)
登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号)
登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL:082-545-5607(代表) FAX:082-545-5608



安心で安全な住まいづくりをサポートします

- ◎ 建築確認・検査
- ◎ 住宅性能評価
- ◎ フラット35 適合証明
- ◎ 長期優良住宅技術審査
- ◎ 住宅エコポイント

- ◎ 住宅かし担保責任保険
(財)住宅保証機構 (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
たてもの(株) (たてもの保険 NAIS)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

「学都廣島の街と暮らし」

まちづくり委員会 三島 久範



広島支部まちづくり委員会では、「これからの都市再生や観光都市創出に向けて、地域の産業連携や街の生活文化（地域特性、遺伝子）を踏まえた都市格（都市の性格や品格）について市民が考え、まち特有の産業連携を再構築し、文化性の高いまちづくりを目指すことが必要」という趣旨の下、昨年2月、「ひろしまの都市格と暮らしを考える」フォーラムを開催しました。

昨年度フォーラムでは、江戸時代後期における広島の下町歴史や生活文化をひも解きながら、参加者と共に「ひろしまの都市格」について考えてきました。今年度は、明治期以降の「学都廣島」と「軍都廣島」に焦点を当て、戦前の街の様子や、そこにあった生活様式などをひも解きながら、「ひろしまの都市格とは何か」について考えていくことにしました。

その初回ゼミナール「学都廣島の街と暮らし」を、昨年11月27日（土）、広島市まちづくり市民交流プラザで開催しました。講師として広島大学国際協力研究科教授の小池聖一氏をお招きし、「学都廣島」の起点を考えるに当たって、高等教育機関（大学）を中心に考えるべきとの視点から、広島大学の歴史をひも解く形で講話を進めていただきました。

広島大学の前身は、広島高等師範学校、広島文理科大学、広島高等学校、広島高等工業学校他、幾つかの諸校から成ること。終戦後に各校の気風を残しながら千田町界隈に統合開学されたこと。そして千田町に広い跡

地を残して東広島へ移転したこと。こうした歴史の中で、軍都に呼応して明治期に設置された高等師範学校（当時、東京・広島の2カ所）の存在が、「学都廣島」のイメージを築き上げるきっかけになったことや、戦前までの前身諸学校の学生たちのバンカラ気風と学校周辺の町人などが学都としての情景を形成していたことなどを学びました。

一方で、都心を離れた大学設置という現状問題についても触れられました。大学の中で消費が行われることで学都時代のような学生街が形成されにくいこと、都市の活力や賑わいを感じずに卒業していく学生がいること。学都の名残として大学跡地をうまく活用すべきではないか等、会場を巻き込みながら、かつて学都と呼ばれた広島の未来に向けて、都市・大学・学生がどうリンクすべきかという課題の再認識を行う場にもなりました。

小規模のゼミナールでしたが、戦前の広島に学都と呼ばれる事実が確かに存在したこと、原爆によってそうした事実が吹き去ってしまったこと、戦後の復興の中で各地に大学が溢れてしまい「学都（学園都市）」という格が薄れてしまう状況にあること。そうした中で、広島はかつての学都としてのDNAをどう情報発信していくかということ等、忘れかけていた広島の都市格の一端を目覚めさせる良い機会を提供することができたと思います。

今年度は本ゼミナールに続いて2月にフォーラムを開催し、講話「軍都廣島の街と暮らし」、講話「廣島の旦那衆と街と暮らし」、トークセッション「受け継がれひろしまの都市格と暮らし」の3部構成により、ひろしまの都市格と暮らしを考えていきます。



『省エネ住宅の設計によって使えるメリット』

渡邊 良一

日時：平成22年12月3日（金）18:30～20:35

場所：「ビューポートくれ」会議室

呉では、建築技術者のためのセミナーとして、実務に役立つ勉強会を行っています。

住宅エコポイントの利用に当たっては、エコポイント対象住宅証明書の発行が必須。今回は、エコポイント対象判定基準「省エネ法のトップランナー基準」相当の住宅を設計する時の実例を含めた、実務講習会としました。

まず、山中氏（YA企画）による設計事例を、WEBプログラム利用法を交えてご説明いただきました。

また今回は、広島ガス株式会社呉支店様との共催でしたので、エコジョーズによる省エネ設備の説明を、リンナイ株式会社のご担当の方にお願ひしました。

申請については、ジェイ・イー・サポートの担当、佐東氏に、申請法・注意事項等をご説明いただきました。

エコポイント対象住宅証明書を取得することによって、住宅エコポイントと、フラット35利用に35S（20年）が使える、建築主には大きなメリットがあります。これは、住宅金融支援機構中国支店の西本氏に直接ご説明いただきました。

計画中の設計事例

WEBプログラムで判定し、大きな工事費の追加が無く利用できる場合もある



ようです。

最後に、呉市建築指導課からのお知らせもありました。今回は、呉地区の建築関係者に多くご参加いただければと、呉建設工業協同組合、（社）広島県建築士事務所協会（芸南地区会員）にも、共催・後援をいただきました。参考HP <http://ees.ibec.or.jp/>（算定用Webプログラム）2時間という短い時間でしたが、参加された会員の皆様、お疲れ様でした。

2011 Information Calendar 2月・3月の行事予定

2 February

- 5 土・支部ボウリング大会（東広島支部）
・地域・社会活動視察研修会
（岡山県西栗倉村ほか・県北支部）
- 6 日・地域・社会活動視察研修会
（岡山県西栗倉村ほか・県北支部）
- 13 日・第3回建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム（広島県情報プラザ）
- 19 土・「戦前のひろしまの都市格と暮らし」フォーラム（広島支部）
・東広島エコ・耐震住宅展
- 20 日・東広島エコ・耐震住宅展
- 23 水・22年度第四期・定期講習（広島県情報プラザ）
- 26 土・見学会（姫路方面・広島支部）

3 March

- 5 土・支部対抗ボウリング大会
- 11 金・公開まちづくりセミナー
（広島市まちづくり市民交流プラザ）

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務（耐震診断等）
- 耐震診断判定業務
- 住宅エコポイント関連業務

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0041 広島市中区小町2-30

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌 営業所:呉